

平口洋氏、石橋良三広島県議会議員(代理)、繁徹範山口県支部長が来賓挨拶で、業界並びに協会への今後の期待と激励の言葉を述べた。

このあと懇親に入り、テーブルを囲んで和やかな雰囲気の中で親睦を深める。

事業計画には、普及技術講習協会の施工技術管理に関する活動の4項目のうち技術士のうち技術士は、10月に国特定法面協会又部との合同開催。

リチウム工法や剥落防止塗膜紹介

— コンクリートメンテナンス協会 —

鳥取、松江で補修フォーラム



が最終的にたどりつき、土木学会や材料学会等でも多く発表されている『亜硝酸リチウム圧入工法』を中心に紹介させていた。コンクリート構造物が美しく、機能的に延命できるように奮闘できれば幸いだし、賛同いただける方々ぜひ連絡をいただければ」と挨拶した。

講演は第1部と第2部に分かれ、第1部では極東興和の江良和徳氏(工学博士)が「コンクリート構造物の調査・診断・補修設計から補修工事・追跡調査まで」をテーマに、過去の診断事例を踏まえながら劣化メカニズムや補修工法選定の考え方を解説。メインとなる亜硝酸リチウムを用いた補修工法についても詳しく説明し、適切な評価・診断と工法の選定、施工・維持管理を行うことの重要性を説いた。

また、第2部では日本ペイントの中丸大輔氏が「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」と題し、塗るだけでコンクリート片の剥落を防止できる「割れない塗膜・タフガードQ-R工法」を紹介した。

なお、この日紹介された技術はいずれもNETISに登録済み。フォーラムに関する問い合わせ等は同協会事務局(電話番号082-541-0133)まで。

田秀樹・東興ク中四国支店吉・ケミカル営業所長

の議事では、議長を連出し、23成24年度事業計画案、理事連件などを審議。会一致で承認。理事連任に関する谷会長をはじめ、主任を決定した。主に▽業界の資料及び情報四連業界との積此と情報交換▽制度に対する習得▽再生混炭炭素混合物の促進▽関係官団体との意見審査制度・自主研究促進▽技師の充実▽な

(一社)コンクリートメンテナンス協会(徳納武使会長)の主催による「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム」が12日に鳥取市、13日には松江市でそれぞれ開催され、鳥取会場(とりぎん文化会館)には約90人、松江会場(松江テルサ)には約100人が参加。塩害・ASR等に有効な亜硝酸リチウムの圧入技術や剥落防止対策工法に関する約3時間の講演を熱心に聴講した。

フォーラムは、塩害・中性化・ASRなどによるコンクリート構造物の劣化が深刻な社会問題となっていることを受け、亜硝酸リチウムの圧入工法などを中心とした対策技術を広く紹介するもの。広島で始まった同フォーラムも今では中国地方だけでなく東京・大阪・九州・四国など全国各地に波及して毎年開催されており、いずれの会場でも多くの関係者が参加。鳥根県では昨年11月に続いて2回目、鳥取では今回で3回目の開催となる。

冒頭では徳納会長が協会の取組み経緯などを説明したのち、「材料・工法の組み合わせで色々な選択肢があるが、劣化原因の把握、要求性能の決定、材料・工法選定と段階を踏めば補修は難しくはない。当協会は工法協会ではないが、本日は我々

た。当日は、来賓として三原労働基準監督署の奥原英記署長が出席。冒頭のあいさつで、深山社長は「災害発生原因の多くは、特別賞に藤井興業、内海潜水、形成の3社を表彰した。また、広島県から優良

を行い、社員では優良賞に「尾道造船船岸壁等施設老朽化対策工事」など6作業所、特別賞として「三原くすのき苑新築工事」を選出。協力会社では、特別賞に藤井興業、内海潜水、形成の3社を表彰した。また、広島県から優良



安全大会

第35回 安全大会

主催：山陽建設株

2017年 山陽建設株

「安全意識の高い企業の模範」を目指せ 災害事故・ゼロ」

あじうする深山社長

比25.4%増
請負金額は100万円(196億)増
これを金額のみで法人等」は路や国立牽引して7.6%増

4月受注高は3兆100億円増

中国地域 998億3000万円の12.2%

国土交通省は、平成24年4月分の建設工事受注動態統計調査報告を発表した。4月の受注高は3兆1010億円、前年同月比36.7%増加した。うち元請受注高は2兆144.9億円、同38.5%増加し、下請受注高は956.1億円、同32.8%増加した。業種別では、総合工事業は1兆897.5億円、同30.0%増、職別工事業は358.8億円、同39.6%増、設備工事業は844.7億円、同53.1%増となった。元請受注高のうち公共機関からの受注高は436.7億円、前年同月比29.0%増、民間等からは1兆708.1億円、同41.2%増となった。工事種類別では、土木工事業は509.6億円、同20.6%増、建築工事業は1兆308.3億円、同32.3%増、機械装置等工事業は326.9億円、同13.7.6%増となった。業種別では、総合工事業は1兆512.2億円、同27.8%増、職別工事業は81.6億円、同24.6%増、設備工事業は551.0億円、同84.0%増となった。

公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)額は399.6億円、前年同月比30.2%増加した。うち国の機関からは181.8億円(同7.4

9億円、独立行政法人237億円、政府関連企業等833億円)で、同45.5%増加し、地方の機関からは217.8億円(都道府県787億円、市区町村975億円、地方公営企業301億円、その他11.5億円)で、同19.7%増加した。工事分類別にみると、受注額の多いのは「道路工事」134.4億円、教育・病院64.2億円、治山・治水34.3億円であった。

民間等からの受注工事では、建築工事・建築設備工事(1件5億円以上の工事)の受注工事業額は3500億円、前年同月比54.1%増加した。発注者別では、不動産業116.4億円、サービス業95.3億円、製造業60.4億円、卸売業、小売業23.2億円、運輸業、郵便業15.1億円などとなっている。工事種類別では、「住宅」92.8億円、「事務所」58.1億円、「工場・発電所」46.4億円であった。土木工事及び機械装置等工事(1件500万円以上の工事)の受注工事業額は346.4億円、同87.7%増加した。発注者別では、電気・ガス・熱供給・水道業155.2億円、製造業82.9億円、運輸業、郵便業39.8億円、情報通信業24.8億円、サービス業19.1億円など。工事種類別では、「機械装置

等工事」2の他の土木円、鉄道干であった。中国地域種計で90万円総合132億2工事業20万円で、前%増加し、610億4機関110円、民間等0万円)で加、下請受2600万%増加した。別の状

【①受注注高(公共下請受注注の受注注地方の機関からの受注建築設備土木事及事合計、カ同月比】

▽鳥取県00万円(億6500増)(24億1億5000100万円26億700%減)(1億14億90037億4002.0%増